



かしま友愛

第28号

2015年1月1日

社会福祉法人

加島友愛会事務局

大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601



上半期のまとめをおこなう(12月理事会)

思いを新たに

理事長 平田 純博

の輸出関連企業などに歴史的に最高益をもたらした一方で、地方の中小企業や一般勤労者・市民にはその恩恵は全く及んでいません。

円安は輸入資材・食料・生活物資の高騰をもたらし、国内の中小企業の経営悪化や食品・生活用品などの上昇をもたらしています。さらに、消費税率八%への引き上げは、これに拍車をかけ国民生活は厳しさを増しています。

こうした状況の中、大企業と中小企業との格差、国民の中では中産階層が縮小し、一部の富める者と増大する貧困層との格差が拡大して、人権が損なわれる差別が醸成されていると危惧を強く感じております。

また、医療・介護・年金・子育てなど社会保障制度がどうなるのか、危機感を抱いております。

新年を迎え、地域福祉の充実をめざし、皆様とともに力強く歩んでいく思いを新たにしております。

皆様のご健康ご多幸を祈念し、当法人への変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

皆様、明けましておめでとうございませう。

ご家族の皆様も、つつがなく新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は当法人が進めるレインプラン十年計画第一期が、地域の皆様、サービスご利用の皆様とご家族の皆様をはじめ多くの方々のご支援を賜り、成功裡に完了し新たなスタートを切ることができました。重ねて厚くお礼申し上げます。

年末のあわただしい中、衆議院総選挙が行われ、自公政権が三分の二の議席を確保しました。

アベノミクスにより政策的につくられた急速な円安と株の高騰が、金融・投資や自動車・電機・機械など

コラム

かしまの光

消費者庁によると、

昨年度職員の不正行為などの情報を受け付け

る公益通報者保護制度で、国の省庁や道府県、政令市が受け付けた通報総件数が千六百八十八件となり、うち大阪市が九百二十件で過去最多であることがわかった。▼他の政令市を見ると、神戸市が二十件、京都市が十一件、横浜市が八件で十二市では通報がなかった。この数字をみても、いかに大阪市の数字が多いことがわかる。▼大阪市の自治体以外でも通報が可能で、他の自治体よりも情報が集まっております。内容から「半分は職員の通報」とみられる。▼二〇〇六年度の同制度導入時から多くの情報が寄せられ、市では「職員の自浄意識が高いとも言え、多いことが悪いことではない」と分析している。▼しかしながら、「悪意を持つ通報」や「業務への支障」はないのかと、疑問も生じてしまう。



私にとって 仕事のやりがいとは⑤

特集

加島友愛会の各施設の若手職員に原稿を依頼しました。
題して「私にとって仕事のやりがいとは」。一人ひとりの思いが表れています。



アンダンテ加島

生活支援員

たば さおり
田場 沙織

アンダンテ加島で働き5年が経ちました。毎日利用者の方と生活する中で、一緒に考え笑い、とても楽しく過ごしています。

振り返るとあっという間の5年間でしたが、いつも「この仕事をしていてよかったな」と思う時は、利用者の方が納得できずに不穏になった際に話をし、納得しわかり合えた時です。

また、利用者の方が自分の気持ちを上手く伝えられずに他の職員と言い合った時に、私が出動してくると自分の気持ちをしっかりと伝えてくれるようになった事もうれしく思う瞬間の一つです。

働きだした当初は、話を聞いてくれることも難しく、話をしても機嫌が悪く怒ってしまわれることが多くありました。しかし、1年、2年と年月を重ねる中で、楽しい時間を共有し、時に言い合いになる事もありましたが、粘り強く話し合いをしてきた事で少しずつ信頼関係が出来てきたように思います。

いろいろなことを思い返しますが、私にとっても大きな自信につながり、やりがいとなっています。今後も先輩職員を目標にこの仕事を続けていきたいと思えます。



むつみ

生活支援員

きたがわ しゅうた
北川 将大

私が加島友愛会に勤め、10年近くになります。

私たちが取り組んでいる仕事は、とても責任が大きいものだと思日々感じます。私たちの日々の利用者の方への接し方や支援の仕方によって、その利用者の方の将来が大きく変わっていくと思っています。

そのように考えると、とても大変で重たいと思われるかもしれませんが、利用者の方と今まで関わってきた中で、私たちが行った支援で今までできなかったことができるようになった時など、すごく良い表情をされます。また、何があっても毎日いつでも笑顔で、私のことにとっても気を使ってくれる方もいます。その無邪気で屈託のない笑顔にとっても癒されました。



加島希望の家

生活支援員

いくら なおき
井倉 直樹

昨年9月から加島希望の家で生活支援をしています。私がこの仕事でやりがいを感じるのは、利用者さんと関わり、コミュニケーションをとれた時です。

朝、来所してきた利用者さんに、「おはようございます」の挨拶をしたり、一緒にでかけたり、食事をしたり、レクレーションや作業などの活動を共にし、コミュニケーションを深めています。生活支援員として当たり前のことですが、私はここにやりがいを感じています。

希望の家の利用者さんは障害が重い人が多く、言葉でのコミュニケーションが難しい方が多いのですが、どうすればうまくコミュニケーションが取れるのかを毎日考えながら仕事をしています。一人ひとりの特性を勉強し、これまでの経緯やこれまでの様子など、先輩職員やご家族の方と話ながら、少しでもその人のことを知ろうとしています。

利用者さんは、言葉のやり取りはなくても、行動や身振りで常に何かを伝えてくれています。うまく受け止められた時はとても嬉しく思います。

時には上手いかなかったり、わからない時もありますが、日々の関わりの中、自分自身も成長していける事を実感しています。

生活支援は一人ひとり中身がちがうので、その人にとってより良い支援ができるよう努めたいと思えます。



今までの大変だったことなど吹っ飛んでしまいます。そんな時に「すてきな職業だなあ」と感じ、やりがいも出てきます。

まだまだ、私自身は未熟で周りの方に助けをもらったり、助言をいただいたりしていますが、これからも利用者の方と共に私自身も成長していき、豊かに生活していけるようにサポートしていけたらと思っています。



リュミエール加島

ケアマネージャー
とくら しんじ
十倉 伸二

ホームヘルパーの仕事からスタートし、介護の仕事はちょうど10年になります。

前職も人と関わるサービス業。今も昔も「喜んでもらいたい、笑ってもらいたい」をモットーに仕事しています。

現在は介護付有料老人ホームの計画作成担当と介護スタッフの兼務で働いています。

介護スタッフとして入居者の皆さんと接する時は、直接支援の介護。また計画作成担当（介護支援専門員：ケアマネ）として接する時は、間接的に支援することが多くあります。

ケアプラン（個別支援プラン）を作成・実践することは一人ではできません。チームワークを持って入居者の自立支援につなげ、満足度を上げていく仕事でもあります。

一人で頑張るのではなく、チームワークで仕事をやり遂げられるよう心掛け、小さな目標が一つずつ達成できる時はうれしく思います。

仕事を変えても、方法が変わっても、一人一人に少しでも楽しんでもらえるように活動する事が、私にとっての仕事のやりがいでしょうか。



加寿苑

介護職員
つむ まさき
進 昌樹

加寿苑で働きだして3年が過ぎました。最初から3階フロアを担当させてもらっています。3階は認知症の利用者が多いフロアのため、一人ひとりの認知症の症状に合ったケアを提供できるよう、努めています。

ケアを検討する際、「問題行動を起こしている入所者本人が一番辛い思いをしている」と考え、その行動に対する具体的なアプローチを検討しています。加寿苑の仲間と一緒にケアの方向性を考えることで、チーム力向上につながっており、また、認知症に対しての学びを深めることができていると感じます。

入所者のことを第一に考えケアを行っていくなかで、問題行動が改善され、穏やかに過ごす日が増える等、変化がみられた際にやりがいを感じています。しかし、全ての入所者の方の問題行動を改善することは出来ていないため、その人に合ったケアを検討し、提供する必要があります。

大変ではありますが、入所者の皆さんが笑って過ごす日が増え、充実した毎日が送れるよう、これからも入所者のことを第一に考えたケアを検討し、提供していきたいと思います。



Link

職業指導員
まえだ りょうこ
前田 良子

私がLinkに入職して4年が経とうとしています。

私の仕事は主に施設内で作業を見たり、挨拶や身だしなみなどの基本的なマナーを伝えたりすることです。そんな日々の訓練の中で、できなかったことができるようになり、少しずつ自信をつけて成長していく利用者の姿を垣間見ることができた時に、喜びややりがいを感じます。

これまでたくさんの方が就職していき、4年の間でもたくさんの方の退所式を見ることができました。退所式では就職が決まった利用者がスーツ姿や会社の制服姿で、みんなの前で頑張ったことや今後の目標などを話します。その時の皆さんの堂々と自信に満ちた表情を見るのが大好きです。

就職という社会人のスタートを「がんばってね」「あなたならできるよ」と背中を押せる今の仕事はすてきなと思います。これからもたくさんの方が社会で活躍できるように、お手伝いしていきたいと思えます。

加寿苑



昨年は残暑が短く、過こしや
すい秋の季節が長かったような
印象があります。

加寿苑では、九月に敬老会、
十月に日帰り旅行、そして十二
月に年忘れ会・もちつきと、季
節感たっぷりの行事をおこない
ました。

九月二十日の敬老会では、午
前中のセレモニーで賀寿者の紹
介。今回は百歳以上の方が五名、
また卒寿（九十歳）の方も八名
いらっしやいました。

午後からは三津屋連合子ども
会のコーラスが来訪。大阪府の
大会でも入賞したすばらしい歌
声を披露していただきました。

季節感をあじわう

また果樹を植えて整備された
中庭の前では、氷細工づくりの
実演が。ホテルの式場で実際に
作られているプロが「寿」の文
字と鶴二体を作ってくださいま
した。



日帰り旅行では、神戸の「ど
うぶつ王国」と南京町へ。南京
町で混雑をかきわけ食べた料理
は格別なものだったそうです。



リュミエール加島



リュミエール加島では、定期
的に料理サークルを開催してい
ます。

十一月は旬のサツマイモを使
用した料理「スイートポテト」
を入居者と一緒に作りました。

主婦だった方も多く、皆さん
と分担して手際よく・積極的に
参加してくださいる方もいれば、
「食べるのが専門！」と調理
する様子を見学しながらでき上
がりを心待ちにする方など、い
ろいろな方法で、参加してくだ
さいました。

でき上がったスイートポテト
を食べると「美味しい！」思っ
てたより見た目も良いし、上手



に出来た！」「自分たちで作る
のも良いな」「今度は何作るー、
次も楽しみやわ」などの声が多
く聞かれました。

食べることに夢中だった方が
「もうお腹一杯や。食べ過ぎ
た。美味しかったから、いつ
ぱい食べてしまったわー」など
を話されると、他の方から「は
はは。そら食べ過ぎやわ」など、
終始和やかな雰囲気での料理サ
ークルとなりました。

次回も笑顔一杯の料理サーク
ルになればと思います。

料理クラブを開催

全国的に入所施設では高齢化が課題となっています。アンダンテの利用者の方の平均年齢はまだ44歳ですが、60歳以上の方が6人、最高齢では73歳となります。そこで、10年後を見すえ高齢者の方むけの活動を検討することとしました。

まず日中の活動を検討するためにチームを立ち上げ、6月より60歳以上の方を対象とし作業時間での余暇的な取り組みを始めました。

活動の目的として、①安心して、安全に活動に参加してもらう ②年齢に応じた活動を提供する ③活動を通じて季節感を感じてもらい、主体的に活動に参加してもらえるようにする、の3点をあげました。活動内容は、音楽・クラフト・料理の3つを軸として、季節のイベントと関連させて提供しています。

クラフトでは、季節感を感じてもらえるようにイベントに沿った作品を作っています。10月はハロウィンの絵画作成。事前にスタッフが模造紙にハロウィンにちなんだ背景を下書きして、画用紙でかぼちゃの輪郭と目や口を準備。利用者の方には、かぼちゃの顔の貼り付けや色付けをしてもらいました。

予想以上に皆さんが表現力を発揮され、毎回驚かされるほど良い作品に出来上がっています。完成した作品は事務所に展示し、来所された家族の方や他の利用者の方にも見て楽しんでいただるようにしました。

活動を実際に行うまでは初めての取り組みで不安もありましたが、回を重ねるごとに皆さんからも「楽しかった」「次はこれしたい」と言ってもらえるようになりました。また作業時間中にはなかった皆さんの仕事や態度・表情も見られ、利用者の方・スタッフ共々良い時間を過ごすことができています。

まだまだ始まったばかりの活動ですが、愛称も「スマイル」と決まりました。創作の喜びに合わせて季節感を感じてもらえる、笑顔あふれる楽しい活動にしていきたいと思います。

アンダンテ加島



新たな日中活動ー愛称は「スマイル」

加島希望の家



11月7日に『希望の家 秋まつり』をおこないました。利用者主体のイベントとして今年で2回目の開催です。昨年より模擬店の数もふやし、「ジュース」「ポップコーン」「フライドポテト」「和菓子」のコーナーを設置して、販売や調理も含めてまつりを楽しんでいただきました。

手作りの看板やポップ・飾りつけ、食材の買い出しなど準備段階から利用者さんに行ってもらい、皆さんわくわく顔になっていました。

当日はすがすがしい秋晴れ。いつもはアルミ缶の作業をしている中庭も看板やポップを飾りつけるとすっかり様変わり、

屋台の機材が入るとおまつり会場の雰囲気になりました。オープニングは代表の利用者さんの挨拶でスタートです。

アンダンテやむつみの利用者さんも招待して賑やかになってきました。

ジュース店では、どのジュースにするか悩む人で列ができチケット係や受け渡し役も大忙し。隣ではドンドン出来上がるポップコーンをカップに詰めています。会場に香ばしい香りが広がっていました。

綿菓子は今年が初めてで、機材の操作は家族会の役員さんにも手伝っていただきました。「甘いなー」「ふわふわやー」「手についた！」と好評で、販売役の利用者さんも楽しそうです。

フライドポテトは油の温度があがらず、ヒヤヒヤさせられましたが出来上がりは上々のでき。やっぱりポテトは大人気で揚げあがるとアツと言う間になくなって売り子さんも大忙しです。

今年は家族会の手伝いをいただき、アンダンテやむつみの利用者さんを招待できて総勢115名でおまつりを楽しむことができました。次回も皆さんと楽しめる企画にしていきたいと思います。



秋まつりを開催

フリーマーケットに出店

“COCOLO”相談支援センター



10月19日(日)に開催された「第13回よどがわ河川敷フェスティバル」に今回もフリーマーケットを出店してきました。

一昨年は雨のため中止でしたが、今回は雲ひとつない快晴で真夏日のような一日でした。そのせいか準備が整っていないにも関わらず販売開始時刻より早くお客さんが押し寄せるハプニングもありました。おかげで終日人の流れが絶えることもなく無事に販売を終了、目標金額を上回る売り上げを記録しました。

良い商品が揃っていたことはもちろんですが、それ以上に準備から当日まで参加して下さった利用者の皆さんの協力があったとのことだったと思います。

“COCOLO”相談支援センターは精神障害者への様々な支援や、地域への啓発活動を目的とした精神障害者地域生活支援センターとしてスタートしました。啓発活動は一般的に地域を巻き込みながら行われるものですが、「地域に巻きこまれる」ことも大切ではないかと思っています。

こういった地域の行事への参加を通じて、楽しみながら活動を重ねていくことが出来たらと考えています。

職場での定着支援

Link



Linkでは、一人でも多くの障がいのある人たちが、社会の中で働くことを目指して、これまでさまざまな取り組みを進めてきました。

開所から9年目を迎える今年度、就職を実現された利用者は100名を越えました。職場定着率も87%となっており、就職者のほとんどが現在も安定して働いています。そこで、今回は職場での支援を紹介したいと思います。

Linkでは、職場での支援や定着支援を専属のジョブコーチ(就労支援員)が行っています。

あるスーパーの調理部門での障害者雇用では、ジョブコーチ自身が実習を行い、寿司の作り方を覚え、それを本人にわかりやすく教えたり、職場でのマナーをその場で本人に伝えたりしました。手順通りに集中して取り組むという本人の得意な部分を活かせるよう、手順を統一したり、従業員に理解を促したり、職場とも話し合いました。

就職者が今現在も安定して働いている背景には、このように職場との調整を行う支援や定期的な職場訪問などの定着支援があります。就職はゴールではなく、新たな人生のスタートです。私たちは良き伴走者となるような支援をめざしています。

がしま障害者センター

クリーニング・軍手製作に着手

ル・プラス



ル・プラスでは現在21名の方が就労継続支援事業(A型)の利用契約と、加島友愛会との雇用契約を締結し勤務していただいております。

今年度は元々の業務に加えて、病院オペ着のクリーニングを始めました。また企業の協力により、試験的に工場作業着のクリーニングも始めています。軍手の製作も始めていて、毎月数件ご注文をいただいております。

まだまだ私たちが頼りのノウハウの蓄積と設備の充実の必要性を感じながらの毎日です。

必要を感じながらの毎日です。

利用者は日曜日のをぞいてはシフト制での勤務です。仕事中心の生活のペースに慣れてきて、この夏も40℃を超える作業環境でしたが、熱中症や大きな事故もなく95%を超える出勤率で乗り切ることができました。

ル・プラスで見られるのは、様々な事情を抱えながらも働きたいと思う人が、普通に働いている日常です。施設外就労先や、受注のコーディネートをして下さっている企業の方々、家族や支援者の方々の期待にそえるようこれからもみんなで頑張っていきたいと思っています。

ピープルファースト全国大会に参加

地域生活支援部



大阪では肌寒い日が続くようになってきた11月初旬に、ピープルファースト全国大会が沖縄で開催され、グループホームから3名の入居者が参加されました。大阪を出るときは上着を羽織っていたのですが、那覇空港で飛行機を降りた途端予想を大きく超える気温と湿度の高さに、まだ夏を感じるほど驚かされました。

全体的な人数はこれまでよりやや少なくなりましたが、参加されていた方たちはこれまでの大会と同様、非常に熱意のある発表をされていました。

今回は分科会のテーマ数も少なくなっており3名とも同じテーマの分科会に参加しましたが、全員しっかりと自分の思っていることを集まった人たちの前で発表されました。人前で話をするので、ひとつのことをやり遂げたという充実感を得ることができたようです。

時間に限りがあったため、美ら海水族館を見てまわるので精一杯でしたが、街並みや食事なども含め、暑い沖縄を楽しむことができたと思います。

写真で見る

2014年の加島友愛会



新人研修

【3/24・25】 法人の歴史や理念について学ぶ



田植え

【5/18】 今回で20周年を迎える。10月には稲刈りも実施



理事会・評議員会

【5/24】 昨年度の事業報告、決算報告などを確認



障害者センター 夕涼み会

【7/26】 職員、利用者の出し物で盛りあがる



第4回現場実践交流会

【8/9】 各施設の取り組みを報告



加寿苑 夏まつり

【8/16】 デイサービスの利用者も参加

はじめてのミニ運動会

むつみ

11月15日、ミニ運動会を行いました。むつみとしては初めての試みで、生活介護と就労継続B型の利用者さん合同で何かやってみようということで気軽に企画していたのですが、センター隣の小学



校から玉入れの用具や平均台など一式貸して頂けることになり、意外にも本格的な運動会になりました。

1時間半程の時間ではありましたが、ラジオ体操から始まり、玉入れに障害物競走、大玉ころがし、リレーにフォークダンスと盛り沢山でとても楽しむことが出来ました。

お休みで参加できなかった人もいたので、またみんなで出来るよう企画したいと思います。



❖ 後援会の活動にご協力ください ❖

後援会にご加入いただき、ありがとうございます。紙面をお借りしてあつく御礼申し上げます。2014年度の会員加入状況（11月末現在）をお知らせします。昨年同時期と比較しますと、個人会員の方の納付額が92,000円の増となっています。

後援会加入状況	団体	14団体	18口	180,000円	
	個人	153人	198口	605,000円	合計 785,000円

加島友愛会が運営する特別養護老人ホーム加寿苑の中庭に、温州みかん、レモン、リンゴ、ブルーベリー、梨などの実のなる木を植え整備しました。施設利用者及びご家族の方々が楽しみながら利用していただくための支援を、今後も行う予定です。

引き続き、加島友愛会後援会をよろしく願いいたします。

振込口座 ゆうちょ銀行 00960-7-48904
加島友愛会後援会



* 見学会のご案内 *

開催日 **1月17日(土)・18日(日)**
2月14日(土)・15日(日)
 時間 **10:00～16:00**

**** 期間中見学の方に特典 ******
体験入居 1泊分 5,000円無料!

見学会開催期間中にご予約の上見学され、3泊4日から5泊6日の体験入居を申し込まれた場合、1泊分5,000円を無料にさせていただきます。この機会にぜひ体験入居をお申し込みください。

ご予約・お問い合わせ・ご相談

フリーダイヤル **0120-087-322**
 電話 **06-6308-7788**

リュミエール加島 大阪市淀川区加島4-16-35
 見学会開催期間以外の見学も受け付けていますので、ご予約ください。ただし、体験入居の1泊分5,000円無料は適応しません。ご了承ください。

リュミエール加島では…

いつまでも住み続けられる安心で快適な
 住まいを提供しています。
**24時間介護スタッフ常駐、緊密な医療連携、
 理学療法士・鍼灸師常駐、温泉気分で入浴
 できる岩風呂・ひのき風呂**

…等々充実したサービスを提供しています。
 詳細はご見学時に説明させていただきます。



インターネットで検索 リュミエール加島

定期的更新している「リュミエール加島のブログ」や、「ホームズ」「オアシスナビ」等の紹介サイトがご覧になれます。

JR東西線加島駅下車北へ徒歩8分
 梅田・十三より市バス97号「加島駅前」行き
 阪急バス「加島駅前」行き「加島西(加島3丁目)」下車



リュミエール加島



介護付有料老人ホーム

ご利用料金

介護付有料老人ホーム

Aタイプ (約45㎡) 入居一時金	4,000,000円
キッチン・ユニットバス装備	
月額利用料	248,600円
Bタイプ (約20㎡) 入居一時金	1,800,000円
月額利用料	136,800円

※月額利用料には家賃、管理費(居室の光熱水費含む)、食事代・リネン代(Aタイプは2人入居、A・Bタイプとも30日で計算)が含まれます。

*介護保険自己負担分等は別途

ミント小規模多機能型住宅介護

(通い・宿泊・訪問サービス)

- 宿泊代
一泊2,000円 リネン代 1セット105円
- 食事代
朝食/200円 昼食/600円 夕食/600円

*介護保険自己負担分等は別途

体験利用受付中

リュミエール加島の体験入居	一泊/5,000円 (5泊6日まで可能)
ミントの通いサービスの体験利用	700円 (昼食・おやつ)